

令和6年度第3回八千代市障害者自立支援協議会
会議録

開催日時 令和7年3月12日（水） 14時00分から14時40分まで

開催場所 八千代市福祉センター4階 第3・4会議室

出席委員 出席委員一覧のとおり

事務局	課長	原田 泰雄	副主幹	三島 敦子	主査	木村 友和
(障害者支援課)	主査補	大橋 百合子	主査補	櫻井 宏樹	主事	武田 直樹

議 題

- (1) 各分科会の今年度の活動等について
- (2) 基幹相談支援センターについて
- (3) その他

公開・非公開 公開

傍 聴 人 0名（定員5名）

審 議 内 容

事務局	定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第3回八千代市障害者自立支援協議会を開会します。 本日は、お忙しい中、お集りいただきありがとうございます。本会は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」の規定に基づき、会議を公開するとともに、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、予めご了承ください。また、本会議は会議録の自動作成を行っておりますので、発言する際は、お手元のマイク付近にあるボタンを押してから発言するようにしてください。本日は、傍聴の届出はありませんでしたので、お知らせいたします。 議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。 【配付資料の確認】 ○席次表・次第・委員名簿・本協議会設置要綱 ○八千代市相談支援事業所ガイドマップ ○令和6年度八千代市障害者理解啓発事業講演会の案内チラシ
事務局	それではさっそく議事に入らせていただきます。ここからの議事進行は、木崎会長をお願いします。
議長	それでは議事に入りたいと思います。議事は、次第に沿って進行させていただきます。本日の議題は(1)各分科会の今年度の活動等について、(2)基幹相談支援センターについて、(3)その他です。 それではさっそく議題に入りまして、議題(1)各分科会の今年度の活動等について、各分科会長より説明をお願いします。
議長	最初に、くらし分科会 西澤分科会長よりお願いします。
西澤委員	くらし分科会では、障害のある方への理解啓発のため、八千代市医師会に協力をお願いし、病院やクリニックの待合室にリーフレットを掲示させていただくこととなりました。医療機関のスタッフの方々も含め、障害特性を理解していただき、障害がある方でも安心して受診できる環境づくりを目指して、取り組んでいるところでございます。こちらのリーフレットの作成につきましては、八千代市手をつなぐ親の会の会員の方に、ご協力をいただきました。 イラストでは、発達知的障害の方の4つの行動特性を、見た目の行動だけでは理解しづらいことをイラストにして、視覚的に伝えられたらということをテ

	ーマに作成されています。先日、リーフレットが完成いたしましたので、完成お披露目会を3月3日に市役所にて行い、八千代市長をはじめ、八千代市医師会会長、本協議会の会長にご出席いただきました。また、報道機関にも案内を出したところ、千葉日報社や地域新聞社の方にもご出席をいただいております。地域新聞には、4月4日発行号に掲載を予定しているとのことでした。 次回のくらし分科会は、4月30日に開催を予定しておりますが、今後の活動につきましても、今回のリーフレットの反響等、またオブザーバーとしてご参加いただいている八千代市医師会の方等からも、いろいろと意見を頂戴した上で、医療機関のみならず、他の業種等における展開も視野に活動をして参りたいと考えております。以上です。
議長	ありがとうございました。次に、つなげる分科会ですが、檜垣分科会長が本日欠席のため、代わりに事務局から報告をお願いします。
事務局	つなげる分科会事務局です。つなげる分科会は、現時点で会議を4回開催しており、第5回目の会議を明日3月13日に開催する予定です。直近では、1月30日(木)に第4回の会議を開催しており、この会議では、障害者差別解消支援地域協議会及び自立支援協議会(分科会)の活動の一環として、事例報告会及び意見交換会を行いました。 このような事例報告会及び意見交換会を開催した経緯といたしましては、ご承知のとおり令和5年12月より障害者自立支援協議会の委員が障害者差別解消支援地域協議会の委員を兼ねることとなったことから、今年度つなげる分科会では、障害者差別解消に係る取り組みとして何を行っていくのか協議して参りました。その上で、協議の結果、今年度つなげる分科会としては「合理的配慮に欠けていた具体的な事例等を集め、何ができるのかを検討」していくこととなったため、千葉県習志野健康福祉センターの広域専門指導員の方にお声掛けをし、「障害者差別解消法に係る事例報告」と「(それを踏まえた)意見交換」を行うことといたしました。当日は、つなげる分科会の委員だけでなく、くらし分科会の各委員、八千代市医師会 中村先生にもご参加いただき、意見交換等を行いました。この会議で出た意見等を基に、来年度以降、障害者自立支援協議会として、また、つなげる分科会として、障害者差別解消に係る取り組みとして何を行っていくのか検討していく予定です。 また、つなげる分科会の活動として、昨年度より市内の相談支援事業所の情報をとりまとめた「相談支援事業所ガイドブック」を作成しておりますが、新規事業所が増えたことや既存の事業所の情報に変更等が生じたことから、「相談支援事業所ガイドブック」の更新を今年度行いました。事業所情報を更新し

	ただけでなく、つなげる分科会の各委員に、本ガイドブックの修正点や改善点等について意見を出してもらい、より分かりやすいものになるよう、レイアウト等も変更いたしました。こちらは令和7年1月に発行し、市のホームページにも掲載しております。本日、皆様のお手元にも1部ずつ配布させていただいておりますので、ご覧いただければと思います。 最初に申し上げたとおり、次回のつなげる分科会は明日3月13日に第5回の会議を開催する予定ですが、そこでは今年度の活動の振り返りと、令和6年度 of 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について、八千代地域生活支援センター様にもご参加いただき実績報告等をしていただく予定です。報告は以上です。 議長 ありがとうございます。次に、しごと分科会 小原分科会長よりお願いします。 小原委員 しごと分科会は、今年度4回開催をしており、直近では2月12日に第4回目を開催しております。そこでは、チャレンジドオフィスやちよの活動について職員課より報告をしていただいております。 チャレンジドオフィスやちよは、一般就労に向けて障害のある方の雇用を促進し、支援を行っています。一定期間、八千代市役所の非常勤職員として雇用し、一般就労へつなげていくというものですが、今年度は定員が5名のところ4名でスタートしております。そのうち2名が退職しており、1名は体調不良でしたが、もう1名の方は一般就労へとつながっております。令和7年度については、定員5名のところを1名増員し定員6名を見込んでおり、一般就労の促進をさらに進めていきたいというお話がありました。 しごと分科会の取り組みとしては、チャレンジドオフィスやちよの報告と助言の他に、市内就労系事業所の見学会・意見交換会も行っております。市内就労系事業所の見学会・意見交換会については、1月24日に実施しており、今年度は市内の就労継続支援A型事業所2カ所への見学と意見交換会を実施しております。市内就労系事業所の見学会・意見交換会を実施した後にアンケートを実施したところ、概ね「やってよかった」「活発に意見交換を行うことができた」という意見が多くありました。また、よりざつくばらんに、意見交換等を行えるような場があったら良いという意見もありました。市内の就労系事業所もどんどん増えてきている状況であることから、より事業所同士の横のつながりや関係構築等が活発になっていけばよいと思っております。 その他、しごと分科会で作成している就労系事業所ガイドブックについては、毎年度末に更新を行っております。そして、障害者差別解消支援地域協議会に関
--	--

	わる取り組みとして、先ほど申し上げた就労系事業所ガイドブックの一番後ろに、千葉県障害者福祉推進課が作成した障害者差別解消法に関する4コマ漫画を掲載し、障害者差別について周知啓発に努めていく予定となっております。以上です。
議長	ありがとうございました。最後に、こども分科会 吉野分科会長お願いします。
吉野委員	こども分科会は、今年度4回開催をしており、主な活動として療育支援マップの作成・更新を行っております。市内の療育支援に関する事業所が増加していることから、それらの情報を反映させ更新することが大きな活動の一つとなっています。9月に療育支援マップの更新が完了し、学校等への配布を実施しましたが、今年度より配布先を少し増やし、私立中学や支所にも送付させていただきました。また、どーんと祭りやキッズフェスタ等、イベントへの参加は今年度見送っておりますが、八千代市合同作品展でこの療育支援マップの配架を行っております。 その他、令和6年度は年度当初より、こども分科会の中で不登校の問題について少し話し合おうということで、取り組みとしては行わないものの、今後も継続的に情報共有できることを考えていくこととしました。以上です。
議長	ありがとうございました。各分科会の活動について、何か質問やご意見等ある方はいらっしゃいますか。 (小原委員 挙手)
小原委員	現在、各分科会にて事業所情報を掲載した「就労系事業所ガイドブック」「相談支援事業所ガイドブック」「療育支援マップ」を作成している中で、「生活介護」や「自立訓練」の事業所情報を掲載したものは、現在作成されておられません。これらを当協議会の中で作成することになった場合、しごと分科会で作成するのか、それともくらし分科会で作成した方がよいのか、それらのことを考えたときに少し思ったのが、現在の分科会の体制で大丈夫なのかどうか、網羅できていない部分もあるのではないかと感じています。せっかく利用する方がわかりやすいように障害福祉サービス毎に事業所情報を掲載したガイドブック等を作成している中で、作成できていない「生活介護」や「自立訓練」等についても自立支援協議会の中でどこがどう取り組んでいくのか考えていければと思います、お話をさせていただきました。

議長	ありがとうございます。いろいろなやり方があるのかと思うのですが、その辺りを今全体で大きく話し合うというのはなかなか難しいところもありますが、今のこの小原委員からのお話について、ご意見のある委員がいらっしゃいましたら発言をお願いします。 (吉野委員 挙手)
吉野委員	こども分科会の吉野です。(八千代市同様にガイドブックを作成している)他市は自立支援協議会の中でどのように各専門部会等で分担してガイドブックを作成しているのでしょうか。
事務局	把握していないので、調べてみます。
議長	ありがとうございます。いろいろな地域課題等について検討した結果、このようなガイドブックがあった方が良いという話がある中で、先ほど小原委員が言ってくださったように、(自立支援協議会について)現状のこの4つの分科会のみで行うということがかなり難しくなっているのではないかと実感しているものの、そのあたりは簡単に変えられるものではないので、より良い方向に進められるよう考えております。 そこは事務局の方とも相談をしながらできればいいと思いますし、(自立支援協議会の)委員の方々からもご意見等頂戴しながら、その組み立てをしていただけたらいいのかな、と思うところです。 実際、先ほど言っていた「自立訓練」や「生活介護」の事業所情報を掲載したガイドブックについては、他市のご意見や情報もいただきながら、八千代市の中でどう取り組むことができるのかを具体的に考えていければいいのかなと思います。 (伊藤委員 挙手)
伊藤委員	なごみの家の伊藤と申します。今の意見に関して、例えば「生活介護」や「自立訓練」が何の給付費からでているのか、というところで棲み分けるとするのはいかがでしょうか。自立訓練だと訓練等給付、生活介護だと介護給付となりますが、訓練等給付と介護給付という意味合いから、(自立支援協議会の中で)どの分科会で取り組むべきなのか、考えるのはいかがでしょうか。
議長	ありがとうございます。それも1つの考え方だと思うので、そちらも参考に

事務局	しながら検討できればと思います。他に何か各分科会からの報告等について、ご意見ありますでしょうか。ないようであれば、次に議題(2)基幹相談支援センターについて、事務局より説明をお願いします。 障害者支援課の木村と申します。よろしくお願いいたします。以前、基幹相談支援センターの方向性について1度ご報告をさせていただきましたが、その後の進捗について、改めてご報告をさせていただきます。 基幹相談支援センターは地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者相談支援事業及び成年後見制度利用支援事業、それから相談等の業務を総合的に行うことを目的とした施設とされています。八千代市の場合、今まで直営で行ってききましたが、相談支援事業所に対する専門的な助言指導を行う人材は、人事異動等があることでなかなか育ちにくい部分があることや、職員の業務が増加している部分も背景としてあることから、今後委託の方向性を検討していきたいと思います。 その中で、今年度から障害者支援課の中で相談業務を地区担当と、基幹相談担当で分け、相談業務を明確にしたところ、その結果、7割程度は1回で終わるような相談なのですが、3割ぐらいは継続的に相談に乗っていくことになるケースとなっております。内容としては、福祉サービスなどに関する相談が多く、また、それ以外に生活に関する支援の相談や、健康医療に関する相談、受診の相談なども比較的多くなっているという状況であり、こういった部分を引き続き整理していく必要があると思います。 このようなことを踏まえ、令和7年度の10月より委託を目指して、今年度3月の議会に予算案を上げている状況になります。今後、予算が成立した後は、今後のスケジュールや委託内容などを、来年度の自立支援協議会の中でお示しできると思います。基幹相談支援センターと自立支援協議会においては、密接に関わりがあることから、それぞれがお互いどのように役割分担をしていくのか、自立支援協議会がどういう形で基幹相談支援センターを支援していくか、来年度委員の皆様にご意見をいただくことになると思いますのでよろしくお願いします。
議長	ありがとうございました。今の事務局からの説明について、何か意見や質問等ありましたらお願いします。もしなければ、基幹相談支援センターに対して、このように業務をやって欲しいなど、要望等々があれば委員の皆様よりご意見としてお伺いできればいいなと思っています。 この場で、もちろん意見を出していただけるのであればありがたいですし、そうでなくても各分科会の中で、意見として上げてもらって、それをまた後程

	自立支援協議会全体の意見として集約し、市の方に伝えることができたらいいいのかなと考えていますが、皆様いかがでしょうか。特に意見等がなければ、各分科会で「(基幹相談支援センターに)もう少しこのような機能を強化して欲しい」等あれば聞かせていただければと思いますので、そのあたりを少しまとめていただけるといいなと思っております。よろしくお願いいたします。
議長	議題(2)について他にご意見等なければ、議題(3)その他に移ります。議題(3)その他につきまして、委員の皆様、事務局の方々より何かありますでしょうか。 (事務局 挙手)
事務局	障害者支援課です。お手元に配布しております「令和6年度八千代市障害者理解啓発事業講演会」の資料をご覧ください。毎年八千代市障害者支援課にて理解啓発事業を行っており、講演会を年1回実施しております。今年度はヤングケアラーについて講演をしていただき、皆様が好きなときに見ていただけるように動画で見られるよう、QRコードも付けさせていただいております。ぜひご覧いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
議長	他に皆様より何かありますか。なければ、これで令和6年度第3回八千代市障害者自立支援協議会を終了します。お疲れ様でした。 (閉会)

(出席委員一覧)

	委員名	所 属	分 野	要綱
1	小野 美果	八千代市身体障害者福祉会	障害者等及びその家族	第1号
2	木崎 早苗	八千代地域生活支援センター	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
3	伊藤 則之	なごみの家	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
4	吉野 眞里子	特定非営利法人 にじと風福祉会	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
5	小原 正律	ふるさと学舎八千代	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
6	奥山 琢	社会福祉法人 八千代翼友福祉会きざし	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
7	西澤 昇太郎	障害者支援施設 作山更生園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
8	國島 弘	障害者就業・生活支援センターあかね園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
9	森田 美恵子	まめの木	指定障害児通所支援事業者を代表する者	第4号
10	宍倉 富子	グリーンヒルキッズ ゆりのき台	指定障害児通所支援事業者を代表する者	第4号
11	坂井 里衣	八千代市教育委員会指導課	教育機関を代表する者	第7号
12	小竹 祐二	身体障害者福祉会 きらめき支援センター	障害者団体を代表する者	第9号

13	石田 和美	八千代精神障害者家族会 かたくり会	障害者団体を代表する者	第 9 号
14	大庭 久美	八千代市手をつなぐ親の会	障害者団体を代表する者	第 9 号
15	林 眞晟	船橋人権擁護委員協議会	権利擁護関係団体を代表する者	第 10 号
16	仲村 亜矢子	八千代市社会福祉協議会	権利擁護関係団体を代表する者	第 10 号